



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功  
副会長 高杉 治興  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

田口 努

人に喜ばれるためではなく、わたしたちの心を吟味される神に喜んでいただくためです。

テサロニケ信徒への手紙I 第2章4節

### 今月のひとこと

#### 「横浜クラブ会長挨拶」

金子 功



この度、5年ぶりに二度目の会長をお引き受けすることになりました。お引き受けした以上は「仕方がない」と思うのではなく、皆さまの期待に応えられるように一所懸命に励む決意です。

歴史と伝統のある横浜クラブは、常に他のクラブから注視され、横浜YMCA

からも評価の対象になっています。大変な責任を担うことになりましたが、私はそれほど心配をしております。その理由はクラブメンバーの質の高さと、会長を助けようとする意識の高さです。私は幸運に恵まれていると言わざるを得ません。歴史と伝統を尊重し、更に輝くクラブを皆さまと一緒に育てていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、クラブ会長の最初の仕事はクラブモットーを決めることです。私は、横浜クラブの歴史、クラブ会員の平均年齢、

YMCA運動に対する理解度等どこをとっても成熟したクラブであることから「横浜クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」と決めました。今までは、クラブの輝く歴史と伝統に重圧を感じるが多々ありましたが、もはや自信を持つ時ではないかと感じたからです。

本年12月にはクラブ創立85周年を迎えます。東日本区では最も歴史のあるクラブとしての自覚を新たにしなければなりません。85周年記念をどのような形で祝うかは、皆さまと一緒に考えたいと思います。

クラブ会員の平均年齢が70才を超えていた昨年より、本年は新進気鋭の若手の会員が二人入会したことによって60才台になりました。前会長のリーダーシップによって始めた横浜YMCAとの協働主催による外国人留学生の日本語スピーチコンテストも定着してきました。

世界のYMCAもユース・エンパワーメントを掲げ、横浜YMCAもVISION 202を掲げてYMCA運動は益々強化されようとしています。日本におけるYMCA運動の中心的な役割を担う横浜YMCAのサービスクラブとして横浜クラブも益々自信を深めクラブ活動を充実させたいと思っております。皆さまのご理解とご協力を心からお願い致します。

### <2015年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
16名	メン 12名	69 %	今月分	
(功勞)	メネット 2名	(メーキャップ	切手	0g
会員1	コメント 0名	名を含む)	現金	0円
名を含ま	ビジター 1名		年度累計	
む)	ゲスト 2名	前月修正出席	切手	2,443g
	合計 17名	率	現金	0円

## 7月の行事予定

### キックオフ、YMCA サービス、ASF、RBM

日	曜	時間	行事内容	場所
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会 総会	中央Y
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
31- 8/2			アジア地域大会	京都

## <6月例会報告>

神村 浩正

日時：6月11日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：天野、伊藤、今村、押川、メ、金子、神村、高田  
高杉、メ、田口、成瀬、舟田、古田

ゲスト：大高治、斎藤由也、高橋亮

押川ワイズの司会により、天野会長の開会点鐘で定刻に開始。

ワイズソング・ワイズの信条唱和、押川ワイズによる聖句と食前感謝に続き食事の後「市民活動サポートセンターとYMCA」について同センターの館長高橋亮氏から次のような主旨の卓話を頂いた。



卓話中の高橋亮氏

20年前の阪神淡路大震災では国も市民も大規模災害では行政の力だけでは対応出来ないことを思い知らされた。

一方大都市直下

型地震であったため近郊まで電車に来て、そこから徒歩で被災地まで入ることが出来たため、地震発生後3ヶ月で百万人を超えるボランティアが全国から集まり市民ボランティアや市民組織の力が広く認識され特定非営利活動（NPO）促進法ができ、全国の自治体が競うように市民活動を支援する条例、そして活動の拠点を作っていた。

このため、この年は「ボランティア元年」と言われるようになった。

横須賀市でも横須賀基督教社会館の館長（当時）で、後の県立保健福祉大学の初代学長・阿部志郎さん、民間ではYMCA、青年会議所、社会福祉協議会、生協などが集まり「横須賀災害ボランティアネットワーク」を立ちあげた。そして市民協働での拠点作りが検討され「横須賀市立市民活動サポートセンター」が平成11年に設立された。

このセンターは市の施設であるが運営は民間に委託されることとなり平成13年以降YMCAが委託を受け現在に至っている。ボランティア・市民活動の輪を拡げ人材を育成するには活動の「場」を作ることが何より大切である。

このため驚くほど多彩な活動を行っているが「あなたが地域の主人公」というキャッチフレーズで横須賀日日新聞に掲載することを予定している月別テーマを見ると、ほぼ全貌が見えるのではなかろうか。

5月 忘れられない日から始まった（災害）

6月 横須賀を愛する心（地域の歴史文化）

7月 若者のボランティア（学生ボランティア）

8月 子どもたち（夏の体験企画他）

9月 地域課題・社会課題の解決（企業とNPO）

10月 プロボノ（現役社会人の力）

11月 シニアの力（生涯現役フォーラム）

12月 地域から国際

1月 障がい者・偏見

2月 notalon（ノタロン）ひとりじゃないよ

3月 市民社会の未来

### その他連絡事項など

\* 6月6～7日開催の東日本区大会では当クラブの一泊研修会が継続実施されたことを評価しLT優秀賞を受賞

\* 7月9日の総会兼第1例会で大江浩氏および斎藤由也氏の入会式を行う。

\* 7月21日18時開始の横浜DeNAベイスターズ対東京ヤクルトスワローズの横浜YMCA東日本大震災復興応援ナイター復興応援募金（3000円）は青木担当主事宛に申し込み。オリジナル応援タオルマフラーがプレゼントされる。

\* 6月例会のロバ募金（15,500円）はネパール震災支援募金に充当する。

## 「第18回東日本区大会」

高田 一彦

月日：6月6日～7日

場所：厚木市文化会館・レンブラントホテル

参加者数：431名（横浜より、青木、天野、伊藤、メ、金子、高田、田口、古田）

第18回東日本区大会が、厚木クラブのホストにより厚木市



バナーセレモニーの天野会長

文化会館において東西より431名が結集して開催された。

“相模の国の白龍太鼓”の勇壮な太鼓の響きのオープニングセレモニーに続いて、バナーセレモニーで

は各クラブの会長がクラブ旗と共に登場し、壇上を埋め尽くした。新人2人の厚木クラブのメンバーの司会により開会式が執り行われ、田中理事の開会宣言・点鐘により開始され、聖書朗読・開会祈祷、ワイズソング、石井実行委員長の挨拶、来賓祝辞では、島田YMCA同盟総主事、松本西日本区理事、小林厚木市長が祝辞を述べられた。続いてのメモリアルアワーでは、金廣照ワイズの遺影もスクリーンに大きく映しだされた。

東日本区アワーIは、大槻展子書記の司会で、田中理事の年次報告が行われ、「誇りと喜びを持って」の主題の下に「選択と集中」、「伝統と革新」、「PDCA」を掲げて、事業の推進に努力してきたことが語られた。

続いて、午前中に開催された代議員報告が大槻書記より、各事業主任よりの事業報告、各部長及びメネット委員長からの活動報告が行われた。

休憩の後の基調講演では、「ロボットのチカラ」と題して、神奈川工科大学研究所長の山本圭治朗教授より、ロボットの福祉分野における研究開発の実状が語られ、実際に研究段階のロボットを壇上に上がって体験する機会もあり、厚木市がロボット開発の最先端を行っているのだと感心させられた。

続いて、地域奉仕、会員増強、国際・交流、ユースの分科会の時間がもたれたが、各会とも熱のこもった一時を過ごした。(因みに、小生が参加した国際・交流では、RBMの実際のネット等をデモしたり、TOF支援の現状の紹介等、普段メンバーに直接アピール出来ない事が行われ大変有意義だと思った)。

その後、バスで晚餐会場のレンブラントホテルへ移動し、厚木市中学校の吹奏楽部の演奏を堪能した。晚餐会は堀田厚木クラブ会長の歓迎挨拶、岡野アジア地域会長の来賓挨拶の後に、渡辺次期理事の乾杯の音頭で開催された。

6日の東日本区アワーIIでは、まず表彰式が行われ、横浜



表彰を受ける天野会長

クラブは長年継続している一泊研修会が評価され、LT優秀賞を天野会長が登壇して受賞した。続いての理事引き継ぎ式では、青木元国際会長の司式の下に田中理事から渡辺次期理事へ引き継ぎが行われ、同時に役員引き継ぎ式も執り行われ

た。横浜クラブの表彰は次の通り。LT優秀賞、CS献金達成賞、ASF献金達成賞、FF献金達成賞、EMC-M努力賞(2名入会)、国際事業ブランドスラム賞(BF、TOF、RBM、YES献金の達成)。



の紹介と出席を呼びかけた。次いでYMCAから震災復興支援ライターと講演会の紹介があり、10月17日のチャリティーランの協力要請があった。

最後は厚木クラブによる東日本区大会の報告で、予定を超える431名の参加があつて大成功に終わり、部の協力に感謝する旨報告があつた。まだ会計報告はなされておらず、部の支援金30万円の扱いも今後検討するとの事であつた。

最後に金子監事の講評の後、閉会点鐘で閉会となった。

## 「ヤングメンバーの入会」

天野 皓司

横浜クラブの平均年齢は72歳になると言われているが、全国的に見て飛びぬけて高いわけではないらしい。年齢を重ねた人がクラブライフを楽しんでいるのは大変結構なことだ。一方、組織活性化の観点からは、若手の存在は欠かせない。幅広い年齢の方がいて、バトンを引き継いで行く事が必要であろう。当クラブの最年少は担当主事を除けば58歳で、若手と言うには程遠いのが現状である。

そんな当クラブに朗報が飛び込んできた。熊本にあるワイズメンズクラブの若者が、横浜転出に際して在浜のクラブに入会したいと言うのだ。彼の名は齋藤宙也さん30歳で、新進気鋭の弁護士。早速4月の第二例会に出席頂き、同じ熊本出身の今村ワイズも急遽駆けつけて、入会を強くアピールして頂いた。

当クラブにとっても願ってもないチャンスであり、昨年検討を始めた若手会員の会費支援制度の具体化について、7月の総会に諮ることにした。その後齋藤さんからは入会したい旨連絡があり、早速5月18日に東日本区に入会届を出した。正式な扱いとしては熊本スピリットクラブからの転籍で、当クラブの平均年齢が一挙に2歳若返ることになる。早く当クラブに馴染んで、将来を担うメンバーに成長されることを期待したい。

## 「2015年度 湘南・沖縄部 第2回評議会報告」

天野 皓司

日時：2015年6月20日(土) 10:00~11:30  
場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：出席義務者である部役員及び各クラブ役員

横浜クラブからの出席者：金子(部監事)、天野

山田書記の司会により、峯尾部長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、聖書朗読・祈祷と続き、峯尾部長の挨拶で議事に入った。田口総主事は所用のため欠席。

最初に峯尾部長による事業報告で、13年振りの湘南・沖縄地区での区大会、沖縄初の評議会開催など、全体として充実した1年であったと総括された。次に谷口部会計による決算報告があり、全会一致で承認された。次に今城次期部長の役員人事の提案があり、提案通り承認された。最後の議案は今城次期部長の抱負で、楽しみを分かち合い、楽しい部の運営を目指したいとの抱負が述べられた。つづきの辻次期会長より、部として研修会の開催要請があり、当クラブの研修と併せて検討する事となった。

次いで報告に移り、東日本区役員会報告、事業主査報告、各クラブ報告があつた。当クラブからは8月27日の納涼会

## 「梅雨空への願い」

高杉 治興



去る6月26日の朝日の報道によると、今年はエルニーニョ現象が梅雨前線に大きく影響し、日本列島は各地で記録的大雨・河川の増水・土砂災害・突風など大気の不安定が続いている。

一方、北海道から九州の一連の活火山が活動を始めている。御嶽山、箱根山、浅間山、桜島、屋久島、西表島、その他口永良部島である。幸いにして横浜地方ではどうやら平穏であるが、世界的国立公園である箱根山では観光客が激減し、財的損失が極めて大きいと言われている。当局は、箱根のリスクは全体ではなく大涌谷の極地的リスクであるとPRに努めているが、これまた早期に正常に戻して欲しいものである。

さて、2020年の第32回東京オリンピック大会のセーリングの競技場は東京都に決定されていたが、最近神奈川の江の島を基地として行うと発表された。江の島をベースとして行われた前回の第18回東京五輪の会場を再度利用することとなる。

私は、1964年神奈川県から派遣され、セーリングに参加する選手たちの「選手村」の運営に参画し大変貴重な経験をした。2020年の大会までは未だ数年あるが、健康には十分留意し、あの当時の感激と感動に浸りたいと強く念願しているこの頃である。

## 第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：6月25日（木）17:00～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、天野、伊藤、金子、高田、古田

協議・確認・報告事項

①天野会長よりY・Y's協議会（6/2）及び第4回部評議会出席の結果報告があった。

②7月総会でのプログラムの確認

- ・今城部長（横浜つづき）公式訪問
- ・大江浩、齋藤由也氏の入会式

③総会及び次年度キックオフ例会での審議・確認事項

- ・14-15年度事業結果報告
- ・クラブ会計結果報告
- ・15-16年度活動方針と事業計画
- ・15-16年予算案
- ・その他

会議は3時間半に及ぶ長丁場になった。熱心に討議したとも言える反面、効率的な会議の持ち方、進め方についても大いに検討の余地があることを感じさせた。



担当主事 青木 一弘

### ■東日本大震災復興応援ナイターのご案内

7月21日（火）に、今年度も東日本大震災復興応援ゲームを開催し、福島から避難されている方々をベ이스ターズ対スワローズ戦に招待いたします。当日は横浜中央Yで、福島の方々の交流会が開催され、そこで作成されるハンドクラフトが、両チームの監督に渡される予定です。併せて、YMCAではこの復興応援ゲームと連動して募金活動を行います。なお、一口3,000円で東日本復興支援募金をしてくださった方に、当日の野球観戦チケットと特性マフラーをお渡しします。多くの方の参加をお待ち申し上げます。当日、日本橋福島館からは福島物産展も出店される予定です。

### ■「カナダの古都キングストン・丸ごと味わう大人旅」のご案内

YMCAでは、地球市民教育の一環で成人の方々に秋の紅葉が素敵なカナダキングストンの旅を企画しています。7月末まで募集します。詳細等ご質問がありましたらYMCA ACT（045-316-1881）までご連絡ください。

日程 15年10月3日（土）～12日（月）[10日間]

場所 カナダ オンタリオ州 キングストン

対象 20歳以上の成人

引率 日本からの引率はなし、現地引率者あり

最少催行人数 6人

参加費 420,000円（税込）

### ■「開発教育入門講座 in 横浜」のご案内

開発教育協会（DEAR）とYMCAの共催で、以下の通り「開発教育入門講座 in 横浜」を開催致します。世界のことを身近に感じることができる「写真で学ぼう！地球の食卓」のワークショップを行います。是非、ご参加ください。

日時：15年7月22日（水）18:30～20:30

会場：横浜中央YMCA 6階606教室

定員：先着30名 ※要予約

参加費：学生500円、一般1,000円 会員（DEAR/横浜YMCA）無料

お申込み：以下のいずれかの方法でお申し込みください。

①DEARのホームページから申込み

(<http://www.dear.or.jp/getinvolved/nyumon.html>)

②国際・地域宛に必要な事項をメール

([kokusai@yokohamaymca.org](mailto:kokusai@yokohamaymca.org))

③添付申込書をFAX（DEAR：03-3818-5940 又は、横浜YMCA：045-651-0169）

### 横浜クラブ14-15年度総会及び

### 15-16年度キックオフ月例会プログラム

日時：7月9日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：伊藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 …… 金子 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 …… 全員
3. 今月の聖句 …… 田ロワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 …… 金子 会長
5. 部長公式訪問挨拶 …… 今城 部長
6. 食前感謝 …… 田ロワイズ
7. 食事
8. 総会
9. キックオフ例会（ビジネス・報告） 金子会長
10. 入会式 （大江浩氏、齋藤由也氏）
11. *Happy Birthday* :  
今村朋子（25）、今城高之（31）
12. 閉会点鐘 …… 金子会長

例会報告：古田ワイズ

## 8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
7-9	金	18:30	AIDS文化フォーラム in 横浜	かながわ 県民センタ
27	木	18:30	横浜クラブ第1例会 兼 納涼会	驛の食卓

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki.kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki.kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-641-5785